

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第47号	氏名	林田 直美
学位審査委員	主査	永山 雄二	
	副査	関根 一郎	
	副査	永安 武	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、甲状腺乳頭癌で高頻度に認められる BRAF 遺伝子異常を甲状腺吸引細胞診の際の吸引細胞を用いて解析可能か否かを検討したもので、その目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 上記遺伝子異常を PCR-RFLP 法と直接塩基配列決定法の両方を用いて解析し、さらに吸引細胞での解析結果を手術摘出組織とパラフィンブロックでのそれと比較したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、吸引細胞を用いても正確に診断でき、さらにその異常が悪性度と相関することを明らかにし、本法が甲状腺乳頭癌の診断の補助手段として有用であるというのみでなく、悪性度の判定・治療法の選択などにも応用されることが大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は甲状腺乳頭癌の診断及び予後判定の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			